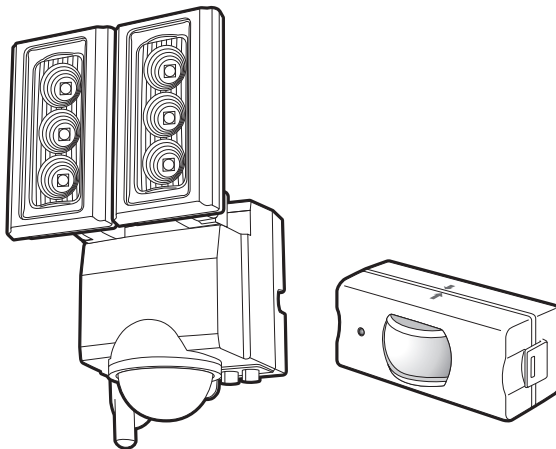


AC100V電源 連動センサー付 LEDセンサーライト

品番
ESL-RS1202SET



取扱説明書
保証書付

お客様へのお願い

この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。お読みになった後は大切に保管し、必要なときにお読みください。

本品は強盗、盗難、空巢などの被害を未然に防ぐことを保証するものではありません。万一、被害などが発生しましても当社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。

1 安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。



この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示します。



この表示の注意事項を守らなかった場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を表示します。

本機について

警告

- 点灯中や消灯直後は器具に触らないでください。ランプやその周辺が過熱しており、やけどの原因となります。
- また、人が容易に手を触れる事が出来る2m以下の場所には設置しないでください。
- 燃えやすい物や引火しやすい物の近くには設置しないでください。屋でも本体に布団や洗濯物等がかぶさると点灯し引火する恐れがありますのでご注意ください。
- 布や紙など燃えやすいものをかぶせないでください。火災の原因となります。
- 交流100V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電の原因となります。
- 視力を損なう恐れがありますので点灯中のライトを直視しないでください。
- 電源コードを本体等に巻きつけたり、コードを束ねたまま使用しないでください。【火災・感電の原因】
- 電源コードの上に物を載せたり、ステップを打ち込まないでください。【ショート・感電・火災・故障の原因】
- 電源コードが傷んだまま使用しないでください。芯線が露出・断線したまま使用すると火災の恐れがあります。
- 完全防水ではありませんので水に浸したりしないでください。
- 正面から見て本体および連動センサー送信器が地面に対して斜めになったり、逆さまになるような取り付けをしないでください。検知機能に異常をきたすうえ、浸水による故障や漏電の原因となります。また万一落下しても事故の起こらない場所に付けてください。
- 取り付けはこの取扱説明書に従って確実に行ってください。
- 屋外で使用される場合、コンセントは防雨型をご使用ください。コードの延長が必要な場合は、必ず防雨型の延長コードをご使用ください。
- 設置時やお手入れ、点検等の際は必ず電源プラグを抜いてから行ってください。感電事故の原因になります。
- 電源コードの抜き差しは必ずプラグ本体を持って行ってください。【断線による火災の原因】
- 定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でホコリを取り除いてください。また、長期間ご使用されない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
- 異常を感じたときは、速やかにコンセントから電源プラグを抜いてください。煙が出たり、変なにおいがしたままの状態で使用すると火災や感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですから、販売店もしくは当社にご相談ください。
- 電源プラグの抜き差しは、濡れた手でやらないでください。【火災・感電・故障の原因】
- 分解・改造はしないでください。また、指定用途以外での使用や、指定外の取付部品を使用しないでください。
- 本品からの電波が影響を及ぼす可能性があるため、次のような場所や条件で使用しないでください。
 - ・病院内で使用が禁止された場所や医療機器の近く(手術室、集中治療室、CCUなど)
 - ※CCU…冠状動脈疾患監視病室
 - ・自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近く
 - ・心臓ペースメーカー装着部位から22cm以内の位置

注意

- 温度の高くなるもの(ガス機器やその排気口、エアコン室外機)の近くには取り付けしないでください。
- 本品をベンジンやアルコール、シンナーで拭いたり、殺虫剤を吹きかけないでください。変色、変形、ひび割れの恐れがあるほか、引火、感電の原因となります。
- 不安定な場所に取り付けしないでください。落下などによるけがや火災の原因となります。取り付け後、しっかり固定されているか必ず確認してください。
- 電源は直結できない仕様となっています。(非電源直結式)

電池について


警告

- 電池が液漏れしたときは素手で液にさわらないでください。液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。
- 電池の液が目に入ったときは、こすらずに多量のきれいな水で洗い流し、ただちに医師の治療を受けてください。
- 火中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 指定された種類以外の電池は使用しないでください。
- 電池の⊕⊖の方向を表示に従い正しくセットしてください。
- 電池を鍵、クリップ、コインなどの金属類と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 新・旧および異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- 液漏れした電池は使用しないでください。
- 外装フィルムのはがれた電池は使用しないでください。

注意

- 火のそばや直射日光のあたる場所、炎天下の車中など、高温になる場所で使用、保管、放置しないでください。
- 電池を落下させたり、投げつけたり強い衝撃を与えないでください。
- 電池の外装フィルムをはがしたり、傷つけたりしないでください。
- 電池に表示されている注意事項もあわせてお読みください。
- 使用済みの電池は環境保全のため、不燃物としてお住まいの地域の所定の方法で処分してください。
- 使用済みの電池は必ず本体から取り出してください。
- 長期間ご使用にならない時は、電池を取り外して保管してください。

2 使用上のご注意

- ライトが点灯している間は電波を受信できません。
- 本体と連動センサー送信器が近接している場合(約1m以内)、本体が動作しない場合があります。
- 電波の到達距離内であっても、壁や天井等に反射した電波と、まっすぐに飛んだ電波が交差して電波の弱まる場所があります。この場合、本体の設置場所を変更する事で解消される事があります。
- 設置場所ではあらかじめ動作確認をおこなってください。また設置後に電波環境が変わる事がありますので定期的に動作確認をおこなってください。
- 携帯電話やPHS、その他電波(ノイズ)を発する家電製品やOA機器の近くで使用すると、動作しなかったり誤動作する場合があります。
- 本品は障害物がない場合は見通し距離約70m以内で使用できますが、次のような場合は電波が届きにくくなり、使用できない場合があります。
 - ・ 機器の間に壁が何枚もある場合
 - ・ 鉄筋や鉄骨を使用した建物で使用する場合
 - ・ 別の階や別の建物の間で使用する場合
 - ・ 次の障害物がある場合
 - ・ コンクリートの壁 ・ 金属製の扉や雨戸 ・ トタンなどの金属製の外壁材
 - ・ 金属箔が含まれる断熱材 ・ 金属製の家具など
- 連動センサー送信器は総務省の技術基準適合証明を受けております。技適マークが貼られている商品は、総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。改造した場合は法律により罰せられることがあります。また証明シールをはがしての使用や、表示内容を改ざんすることは法律で禁止されています。



3 各部の名称と付属品

本体 ESL-RS1202AC

発光部(LED)

取付ベース

検知センサーレンズ
赤色LED
待機時：ゆっくり点滅
センサー検知時：高速点滅

電源コード(約3m)

取付ベース

L型金具通し穴 (上下左右4ヶ所)

取付ネジ穴 (2ヶ所)

取外しレバー

60mm

60mm

L型金具通し穴 (上下左右4ヶ所)

※本体を下から見た図

点灯時間調整ツマミ
点灯時間5秒～10分を設定、調整できます。

点灯開始照度調整ツマミ
周囲が明るいときにも検知～周囲が暗いときだけ検知させるようにセンサーを調整できます。

受信器接続ジャック

ベアリングボタン

電源コード

※ツマミが固い場合は、ペンチなどではさんで回してください。

付属品

- 本体用 取付ネジ(2本) (φ4×38mm)
- コンクリート用 スリーブ(2本) (φ6×30mm)
- マスキングカバー (1個)
- 取付ガイド(1枚) 外箱の内側に記載されていますので、切り取ってご使用ください。
- クランプ(1セット)
- 拡散パネル(2個)
- 連動センサー送信器用 取付ネジ(2本) (φ3×20mm)
- 連動センサー用 受信器(1個) ESL-EWS02 (ESL-RS1202AC専用)

4 まず初めに

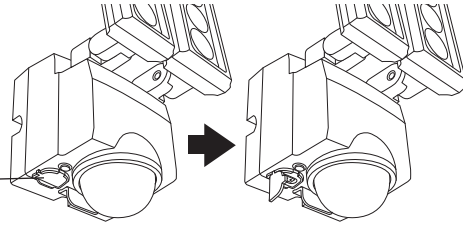
本体および連動センサー送信器の設置を行う前に各機能が正しく動作するか動作確認を行ってください。

動作確認の準備

■受信器の接続

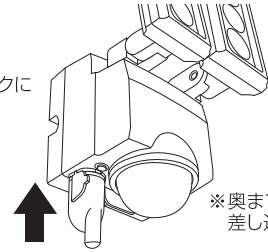
- ①本体にある受信器接続ジャックのキャップを外します。

受信器接続ジャック



※本体に増設送信器(弊社型番ESL-EWS01)(別売)を差し込んでも動作しません。

- ②受信器をジャックに差し込みます。



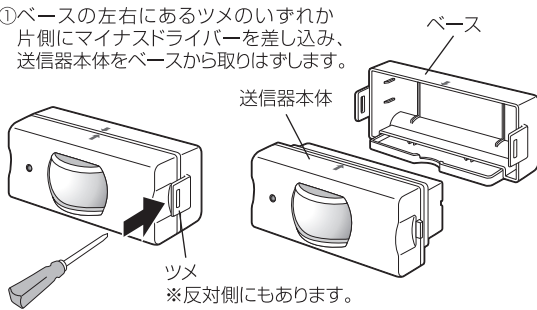
※奥までしっかり差し込んでください。

■電池の入れ方 ※電池交換の際は、全て新しい電池に交換してください。

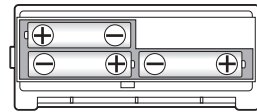
使用電池:単四形アルカリ乾電池×3本

- 電池交換の際も同様の手順でおこないます。

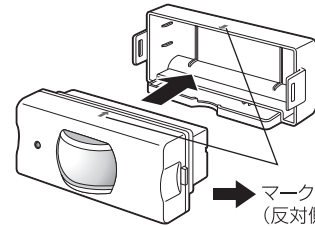
- ①ベースの左右にあるツメのいずれか片側にマイナスドライバーを差し込み、送信器本体をベースから取りはずします。



- ②単四形アルカリ乾電池3本を本体の⊕⊖表示に従い正しくセットします。



- ③送信器本体をベースに取り付けます。



マーク同士を合わせます。(反対側にはマークがありません。)

※電池を入れた際、約15秒間送信ランプが点灯します。これはセンサーが安定するまでの初期動作で故障ではありません。

●電池交換表示について



送信ランプ
(通常時)
センサーが反応すると
送信ランプが約1秒間点灯

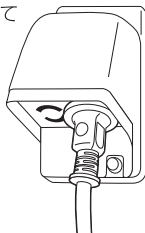
(電池切れが近い場合)
センサーが反応すると送信ランプが
約1秒点灯後、5回点滅

■連動センサー送信器の増設方法

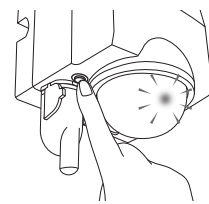
- 本体に送信器を登録しないと使用できません。 **本品はあらかじめ本体に送信器が登録されているため新たに登録の必要はありません。**
- 登録は本体の近くでおこなってください。
- 本体1台に対して送信器は8台まで登録できます。
- 送信器1台に対して本体は何台でも増設することができます。
- 送信器には個々に異なるIDコード(識別符号)が与られているため、ご近所で同じ製品を使用されても混信することはありません。
- 本体の電源コードの抜き差しで登録した内容は消えません。
- ※登録した内容を消す場合は「**登録の消去**」を参照してください。

登録方法

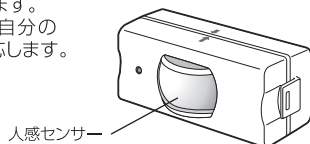
- ①本体が電源に接続されていることを確認します。



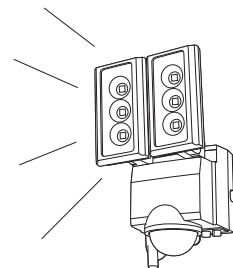
- ②本体のペアリングボタンを短押しすると、ライトが2回点滅し、【設定モード】が開始されます。
※【設定モード】中は、センサー検知や連続点灯モードは無効です。



- ③送信器を反応させます。
→人感センサーを自分の方向に向けると反応します。



- ④送信器からの信号を受信すると、ライトが約2秒間点灯します。
→点灯しない場合は、本体から送信器を1m以上離し、ライトが点灯するまで送信器を反応させてください。
※登録済みの送信器からの信号を受信すると、ライトが約2秒間点灯します。



- ⑤ペアリングボタンを短押しし、赤色LEDが3回点滅すると【設定モード】が終了します。(登録完了)

※②の【設定モード】開始から約2分間経過した場合も、自動的に【設定モード】が終了します。
※送信器が8台登録されると、それ以上の登録はできません。

■登録の消去 ※複数の送信器が登録されている場合、1台ずつ個別に登録を消去することはできません。全ての登録が消去されます。

- ①本体のペアリングボタンを約5秒間長押しします。
→ライトが5回点滅し、登録が消去されます。

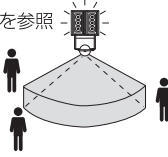
- ②「登録方法」の②以降を操作し、あらためて送信器を登録してください。

4 まず初めに (つづき)

本体の動作確認

① 点灯時間調整を「5秒」に、点灯開始照度を「☀(昼)」に設定し電源プラグをコンセントに差し込みます。ウォームアップ(初期安定動作)が開始され約40秒間ライトが点灯します。この間ライトは点灯したままになりますので、検知範囲外に離れてお待ちください。

「⑥ 各種調整」を参照してください。



② 消灯後、検知範囲を横切るように歩きライトが点灯することを確認します。続いて検知範囲外へ移動すると約5秒後にライトが消灯することを確認します。

③ 点灯時間調整を時計回りに回して、点灯時間が長くなることを確認します。続いて点灯開始照度を「☾(夜)」に設定し、周囲が明るい場合に点灯しないことを確認します。

<動作確認完了>

正しく動作しない場合は、「⑦ 故障かなと思ったら」を確認し、処置してください。

ウォームアップ(初期安定動作)について

電源プラグをコンセントに差し込んだときは、点灯開始照度と点灯時間の設定に関わらず、約40秒間ライトが点灯します。これはセンサーが安定するまでの初期動作で、故障ではありません。

連動センサー送信器の動作確認

① 点灯時間調整を「5秒」に、点灯開始照度を「☀(昼)」に設定し電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で、連動センサー送信器を動作させます。

② ライトが点灯することを確認します。続いて検知範囲外へ移動すると約5秒後にライトが消灯することを確認します。

③ 点灯時間調整を時計回りに回して、点灯時間が長くなることを確認します。続いて点灯開始照度を「☾(夜)」に設定し、周囲が明るい場合に点灯しないことを確認します。

<動作確認完了>

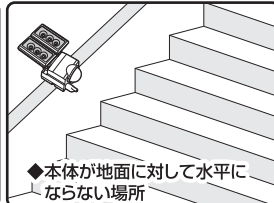
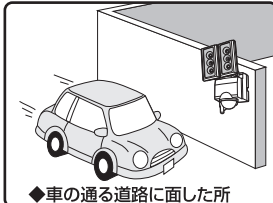
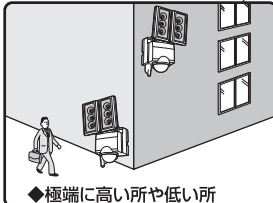
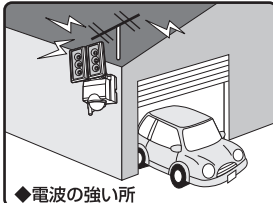
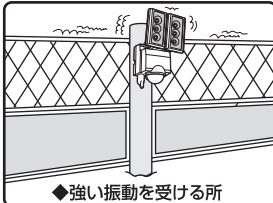
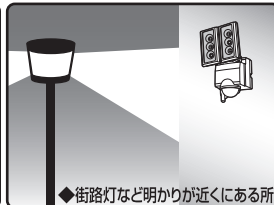
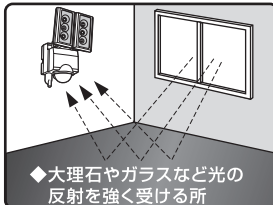
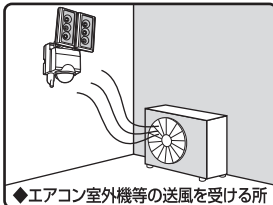
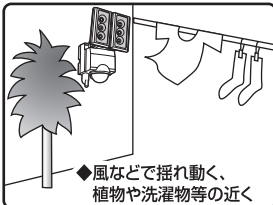
正しく動作しない場合は、「⑦ 故障かなと思ったら」を確認し、処置してください。

5 設置方法

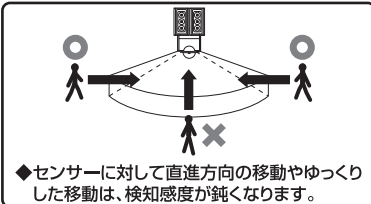
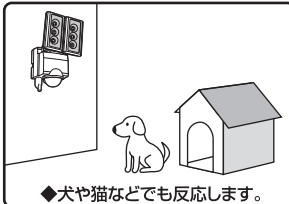
⚠ 本体および連動センサー送信器の設置を行う前に各機能が正しく動作するか動作確認を行ってください。

取り付け上のご注意

※本体・連動センサー送信器のセンサーは周囲の明るさと温度変化を検知します。下図のような場所に取り付けると誤動作したり、動作しない場合があります。※イラストは本体のみですが連動センサー送信器についても同様です。



センサーの特性上、以下の点にご注意ください。



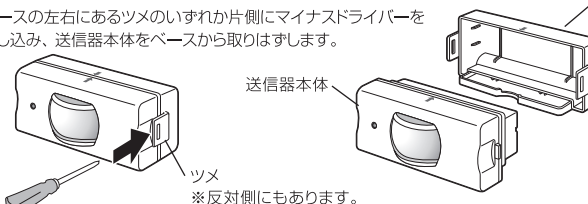
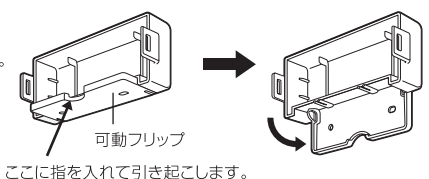
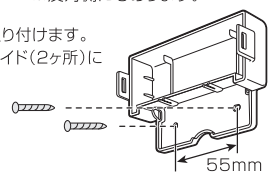
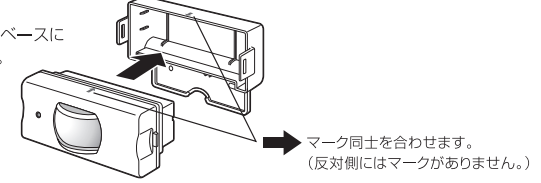
5 設置方法 (つづき)

本体・連動センサー 送信器の取付方法

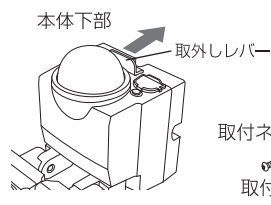
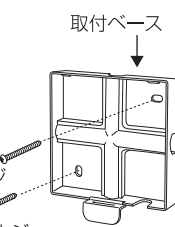
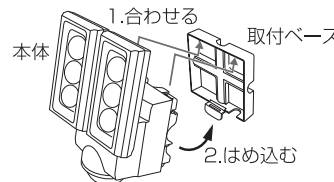
▲万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。

- ・本品の設置(取り付け・取り外しなど)により生じた建物等への損傷やその他損害について当社は一切責任を負いかねます。
- ・設置を行う前に、あらかじめ本体および連動センサー送信器を仮設置し動作確認を行ってください。

連動センサー送信器の取付方法

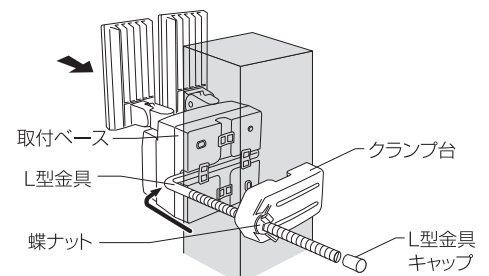
- ①ベースの左右にあるツメのいずれか片側にマイナスドライバーを差し込み、送信器本体をベースから取りはずします。

- ②ベースの可動フリップを最大角度90°まで開きます。

- ③ベースを壁面や天井に取り付けます。付属の取付ネジをネジガイド(2ヶ所)に通して固定します。

- ④送信器本体をベースに取り付けます。


ネジでの取り付け

- ①取付ベースの取外しレバーを矢印の方向に引いて本体から取付ベースを外します。

- ②取付ベースを付属の取付ネジで固定します。

- ③先に本体上部と取付ベースの上部を合わせてから、カチッと音がするまで下部をはめ込み、本体上部も押し付けて確実に本体を取付ベースに取り付けてください。


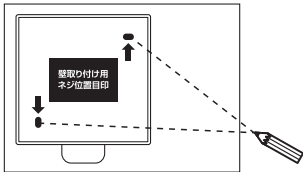
クランプでの取り付け

- 最小約10mmから最大約100mm幅まで取り付け可能
- ①取付ベースのL型金具通し穴にL型金具を差し込みます。
 - ②L型金具にクランプ台を通し蝶ナットで締め付けます。
 - ③L型金具の余った部分に付属のL型金具キャップをかぶせてください。

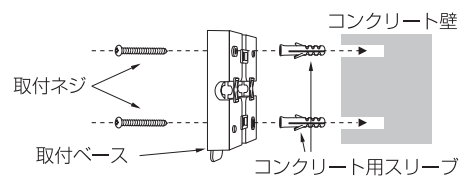


コンクリート壁への取り付け

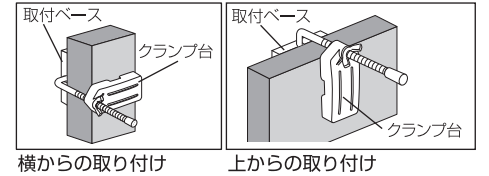
パッケージの取付ガイドを使い取付ベースのネジ位置を決めて目印をつけます。
 ※取付ガイドはパッケージ外箱の折り込み部分にあります。



あらかじめドリルで直径6mm、深さ30mmの穴を開け、そこへ付属のコンクリート用スリーブを打ち込んでから、付属の取付ネジで取付ベースを固定してください。



クランプによる取り付け例



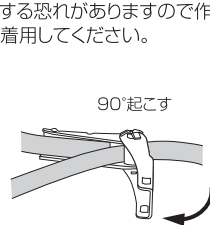
別売ステンレスバンドによる取り付け (弊社型番ESL-SB)

(直径約260mmまで取り付け可能)

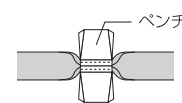
- ①取付ベースのL型金具通し穴(上下または左右の2ヶ所)にステンレスバンドを通します。
- ②バンドを取付箇所(ポールなど)に巻き付け、先端をシャフトの間(シャフトは2枚構成)に通して、バンドにたるみのない程度に張ります。
- ③ハンドルを90度起こして仮止めします。

▲ステンレスバンドの構造上、一度締め付けるとゆるめることはできません。

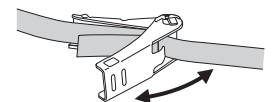
※ケガをする恐れがありますので作業用手袋を必ず着用してください。



- ④仮止めができたら、バンドの余長をシャフトから3cm程度のところで切断します。バンド先端は外に出ません。
- ⑤ハンドルを反復回転させます。(ラチェット機構なのでバンドを巻き取る) ※締めすぎると⑥の工程でハンドルが倒せなくなりますので、ご注意ください。



※図のようにペンチでバンドを2つ折りにし左右に振ると、切断しやすくなります。



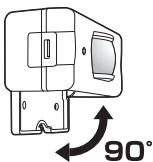
- ⑥ハンドルをベースに重ねるまで倒して、ストッパーにかしめ込んで完了です。

6 各種調整

連動センサー送信器

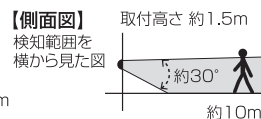
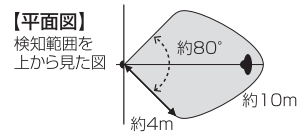
角度の調整

可動フリップは0°~90°の範囲で可動します。



検知範囲について

気温：25℃



【センサーについてのご注意】

- 検知範囲は、周囲の気温、明るさ、人の体温、服装、移動速度、設置する高さにより大きく変化します。特に夏場など人の体温と周囲の気温の差が少ない場合、冬場など人の肌の露出が少ない場合(防寒具など)は検知しにくくなります。
- 人以外で熱源となるもの(動物、空調機の風、暖房機の温風など)も検知します。特に強い熱源は検知範囲外でも検知することがあります。
- 人がいても動かない場合や、移動速度が極端に速い場合、または遅い場合は検知しないことがあります。
- センサーに対して直進方向の移動は検知しにくくなります。

6 各種調整

■ 本体

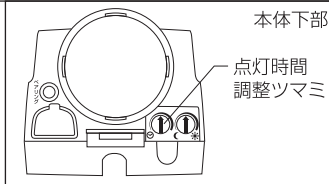
点灯保持時間の設定

センサーが検知なくなつてから消灯するまでの時間を設定できます。



点灯時間: 約5秒~10分の間で設定できます。

※おおよその設定です。細かい設定はできません。
 ※センサーの検知範囲内で人や動物が動き続けると、センサーが再検知し、点灯時間は延長されます。
 ※出荷時は約5秒に設定されています。

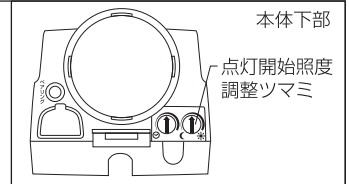


点灯開始照度の設定

センサーが検知を開始する明るさを設定できます。



【夜】周囲が暗くなってから点灯します。昼間などの明るい時間は点灯しません。
 【昼】周囲の明るさに関係なくセンサーが検知すると点灯します。
 ※ツマミを夜と昼の中間に設定すると夕方薄暗い明るさで点灯します。(細かい設定はできません。)

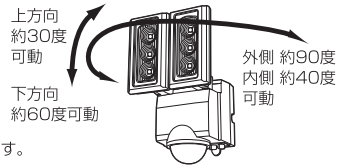


※出荷時は「昼」に設定されています。

照射方向の調整

ライト部と本体を持って上下、左右に照射角度を調整してください。

※故障の原因となりますので、右記角度以上に回さないください。
 ※各ライト部は左右単独で右記角度内で可動します。



センサーレンズの検知方向の調節

左右各約90度

※故障の原因となりますので90度以上回さないでください。

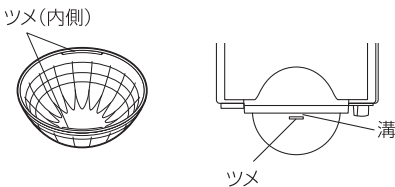


マスキングカバーの使用方法(検知範囲の調節)

センサーの検知範囲を狭くしたい場合のみ、付属のマスキングカバーで調節してください。

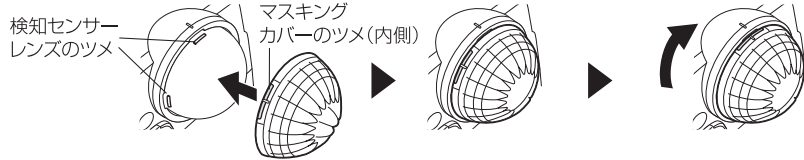
マスキングカバーを切り取らずに装着すると、センサーが極端に検知しなくなります。(マスキングカバーで本体のセンサーの検知を無効にすることはできません。) またセンサーレンズ自体を切り取ったり、傷つけないでください。※マスキングカバーを切り過ぎた場合は、ビニールテープなどを貼って調整してください。

■ マスキングカバー ■ 本体センサーレンズ ■ マスキングカバーの取り付け



①レンズとマスキングカバーのツメが干渉しないように、マスキングカバーをレンズにはめます。

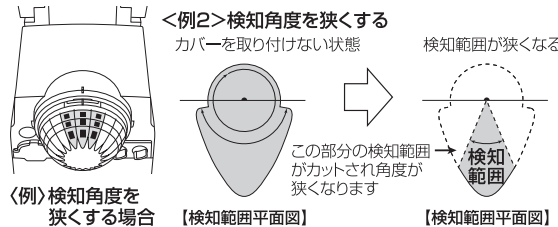
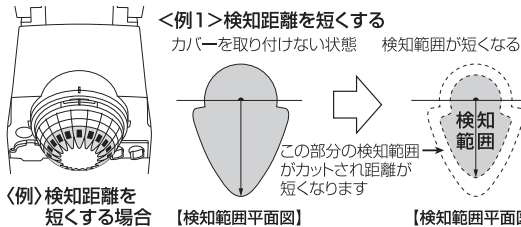
②マスキングカバーのツメがレンズの溝にはまるように、カバーを回転させます。



■ 検知範囲の調整

①センサーを検知させたい範囲を決め、マスキングカバーにマジックなどで目印を入れます。

②マスキングカバーを回転させセンサーから取り外し、目印を入れた箇所をニッパーなどで切り取ります。



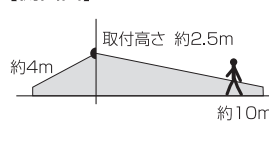
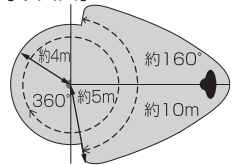
検知範囲について

検知範囲は目安です。気温、服装、移動速度、侵入方向、体温、設置場所などにより大きく変化します。

気温: 25℃

【平面図】 検知範囲を上から見た図

【側面図】 検知範囲を横から見た図



※本体直下は検知できない場合があります。
 ※付属のマスキングカバーを利用して検知範囲を狭めることができます。(マスキングカバーで本体のセンサーの検知を無効にすることはできません。)
 ※検知範囲は、周囲の気温、明るさ、人の体温、服装、移動速度、設置する高さにより大きく変化します。特に夏場など人の体温と周囲の気温の差が少ない場合、冬場など人の肌の露出が少ない場合(防寒具など)は検知しにくくなります。
 ※人以外で熱源となるもの(動物、空調機の風、暖房機の温風など)も検知します。特に強い熱源は検知範囲外でも検知することがあります。
 ※人がいても動かない場合や、移動速度が極端に速い場合、または遅い場合は検知しないことがあります。
 ※センサーに対して直進方向の移動は検知しにくくなります。
 ※以下のような場所に設置すると誤作動の原因となりますので設置場所を変更してください。
 ・風などで揺れる植物やカーテン等の近く ・エアコン等の送風を受ける所 ・光の反射を受ける所 ・ガラスや壁越しの所
 ・強い振動を受ける所 ・取付高さが約2.5m以上の所 ・車の通る道路や人通りの多い所 ・電波の強い所

連続点灯モードの設定・解除

連続点灯モードとは

人感センサーに関係なく連続して点灯するモードです。「点灯開始照度の設定」により動作が異なります。

1. 点灯開始照度「(夜)」の場合

周囲が暗い状態で設定を行い、周囲が明るくなるまで連続点灯します。周囲が明るくなると設定を解除し消灯します。
 ※連続点灯は1回のみ動作します。再度、点灯させたい場合は設定しなおしてください。
 ※連続点灯モードを途中で解除する場合は、電源プラグを2秒以内で抜き差ししてください。
 ※設定は必ず、周囲が暗くなってから行ってください。

2. 点灯開始照度「(昼)」の場合

周囲の明るさに関係なく連続点灯します。
 ※連続点灯モードを解除しない限り点灯し続けます。ご注意ください。

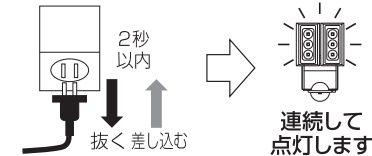
ご注意

以下の場合連続点灯モードにはなりません
 ・電源プラグの抜き差しが2秒を超えた場合
 ・電源コードを電源線に直接つないだ場合
 (電源は直結できない仕様となっております。)

・点灯開始照度「(夜)」かつ周囲が明るい状態で設定を行った場合

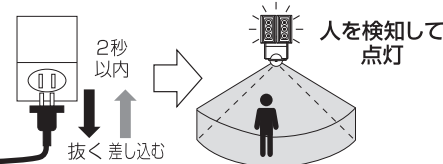
■ 連続点灯モードへの切替方法

センサー点灯モードで使用中に電源プラグをコンセントから「抜く」→「差し込む」を2秒以内に行ってください。



■ 連続点灯モードの解除方法

連続点灯を解除するには、電源プラグをコンセントから「抜く」→「差し込む」を2秒以内に行ってください。



拡散パネルについて

LEDの照射光が眩しいと感じる場合は、付属の拡散パネルを装着することで光をやわらかく拡散して、眩しさを和らげます。光源を直視するおそれがあるため、電源を切って行ってください。

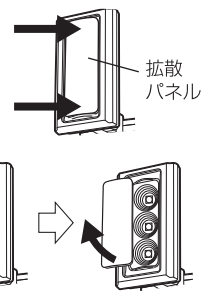
■ 取り付け方

本体のライト部に拡散パネルを押し当てて、拡散パネルの上下を押し込みます。

※拡散パネル装着時は明るさが減少します。

■ 取り外し方

本体のライト部から拡散パネルの上下を順に外します。



7 故障かなと思ったら

現象	考えられる原因	処置
ライトが点灯しない (センサーが反応しない)	本体の電源が正しく供給されていない。	電源コードの接続およびコンセントの電源供給(ブレーカー)の確認。
	連動センサー送信器の電池が消耗している。	全て新しい電池に交換してください。
	連動センサー送信器の電池の⊕⊖が正しくセットされていない。	⊕⊖に注意して正しい向きにセットしてください。
	センサーに向かって直進している。 ※センサーの特性上、正面方向から近づいた場合は検知距離が極端に短くなります。	センサーの検知範囲に対して、検知対象(人など)が横切るような場所へ取り付ける。またはセンサーの角度を変更する。
	周囲が明るい。 (夜でも周囲に他の照明器具がある)	点灯開始照度を「☀(昼)」側に調整する。 他の照明器具の明かりが届かない場所へ取付場所を変更する。
	寒いときや雨降りの中で、人がマフラーや傘などで覆われている。 夏場など周囲の温度と人体の温度差が少ない。	取付場所や検知範囲等を調整する。 ※センサーは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合などは検知しにくくなることがあります。
	非常にゆっくりとした速度で検知範囲に侵入している。	
	検知範囲が遮られている。 ※ガラスや壁、扉越しには人の動きを検知できません。	検知範囲の調整、もしくは取付場所を変更する。また、本体のマスキングカバーをご使用の際は、ズレや外れがないか取付状況を確認する。
	本体および連動センサー送信器が正しく設置されていない。 ・高い位置に設置している ・低い位置に設置している ・傾けて設置している	本体は約2.5m、連動センサー送信器は約1.5mの高さに垂直に設置してください。
	本体にマスキングカバーが付いていませんか。	本体のマスキングカバーを外してください。
	検知センサーレンズまたは人感センサーが汚れていたり、雨などの水滴が付いたりしていませんか。	水にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
連動センサー送信器が登録されていない。	本体に連動センサー送信器を登録してください。	
本体と連動センサー送信器の間の距離が離れている。	本体と連動センサー送信器の間の距離を縮めてください。	
ライトが点灯したまま消えない (センサーが反応し続ける)	電源投入直後のウォームアップ時間中。 ※回路を安定動作させるため、電源投入直後はライトが約40秒間点灯したままになります。	ウォームアップ時間が終了するまで、検知範囲の外に出て待機してください。
	何らかの物体がセンサーに反応し続けており、点灯時間が延長されライトが点灯したままになっている。	完全に検知範囲の外に出る。 本体の検知範囲をマスキングカバーで狭い範囲に調整する。 取付場所を変更する。
	連続点灯モードになっている。	電源コードのプラグを抜き差ししてください。
	点灯保持時間が「10分」に設定されている。	点灯保持時間を「5秒」側に調整する。
人がいないのに点灯する	検知範囲内、または周囲に下記のような誤動作をする要因がある。 (例) 風で揺れるもの(植木、洗濯物、旗など)、犬や猫などの動物、温風や冷風が吹き出すエアコン室外機、ガス給湯器からの熱気、強い無線ノイズ	誤動作要因となっているものを検知範囲内から取り除く。 本体の検知範囲をマスキングカバーで狭い範囲に調整する。
	検知範囲が道路にかかっており、通行する自動車や人に反応している。	取付場所を変更する。
	風や車両の通行等により、本体および連動センサー送信器を取り付けている柱などが振動している。	振動の影響を受けない場所に取付場所を変更する。
昼間なのにライトが点灯する	点灯開始照度の調整つまみが「☀(昼)」になっている。	点灯開始照度の設定を「☾(夜)」側に調整する。
ライトが点滅する (点いたり消えたりを繰り返す)	本体の発光方向に光を反射する障害物がある。 ※反射した光をセンサーが検知して誤動作する場合があります。	光を反射する障害物を取り除く。
ライトが点いてもすぐ消える	点灯保持時間が「5秒」に設定されている。	点灯保持時間を「10分」側に調整する。
	本体の発光方向に光を反射する障害物がある。 ※反射した光をセンサーが検知して誤動作する場合があります。	光を反射する障害物を取り除く。

増設して使用可能な送信器・受信器

■ 連動センサー送信器の増設

本体1台に対して送信器は8台まで登録できます。お求めは本品お買い上げの販売店までお問い合わせください。

品名：センサー送信器 型番：EWS-P33

■ ライト本体の増設

送信器1台に対して本体は何台でも増設することができます。お求めは本品お買い上げの販売店までお問い合わせください。

品名：連動センサーライト増設用 型番：ESL-RS1202L

※本体(ESL-RS1202AC)と連動センサー用受信器(ESL-EWS02)のセット商品です。

■ その他送信器の増設

● 別売の送信器を増設して使用可能です。

※当社型番「EWS」で始まる「ELPAワイヤレスチャイムEWSシリーズ」の送信器のみ互換性があります。

※EWS-01などのワイヤレスチャイムシリーズは登録できない場合があります。

※本体1台に対して、連動センサー送信器とその他送信器は合計8台まで登録できます。

● ご使用の際には各商品の取扱説明書をご参照ください。

ラインアップはこちら
(ワイヤレスチャイムEWSシリーズ)



仕様

ESL-RS1202SET

■ 本体 ESL-RS1202AC

検知方式	赤外線受動式
電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	約20W(待機時 約1W)
光源	白色LED
全光束	約2200lm
点灯保持時間	約5秒～約10分間 ※点灯中に人を検知すると点灯し続けます。
点灯開始照度	約4lx(夜)～(昼)
保護等級	IP45(防噴流形)
使用周囲温度範囲	-10℃～+40℃
電源コード長	約3m
質量	約768g(電源コード含む)
付属品	本体用取付ネジ 2本(Φ4×38mm)、 コンクリート用スリーブ 2本(Φ6×30mm)、 マスキングカバー 1個、クランプ 1セット、 拡散パネル 2個、連動センサー用受信器 1個、 取付ガイド 1枚

■ 連動センサー用受信器 ESL-EWS02 ※ESL-RS1202AC専用です。

送信器増設台数	最大8台
使用周囲温度範囲	-10℃～+40℃
外形寸法(約)	幅22×高さ58×奥行15(mm)(最大値)
質量	約8g
電波通信距離	見通し 約70m

※LEDの交換はできません。

※商品の特性上、明るさや光の色にバラつきが出る場合がありますのでご了承ください。

※仕様及び外観・外装は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

※製造には万全を期しておりますが、万一不具合のあった場合は良品と交換いたします。

それ以外の責はご容赦ください。

■ 連動センサー送信器 EWS-P33

電源	単四形アルカリ乾電池×3本(別売)
電池寿命	約2年(1日10回使用時) ※アルカリ乾電池使用時 ※電池の性能、使用条件により電池寿命は短くなる場合があります。
外形寸法(約)	幅110×高さ45×奥行48(mm)(最大値)
防水仕様	IPX5(防噴流形)
使用周囲温度範囲	-10℃～+40℃
質量	約80g(電池除く)
周波数	313.625MHz(特定小電力機器)
IDコード	約25万通り
付属品	連動センサー送信器用取付ネジ2本(Φ3×20mm)

外形寸法図

